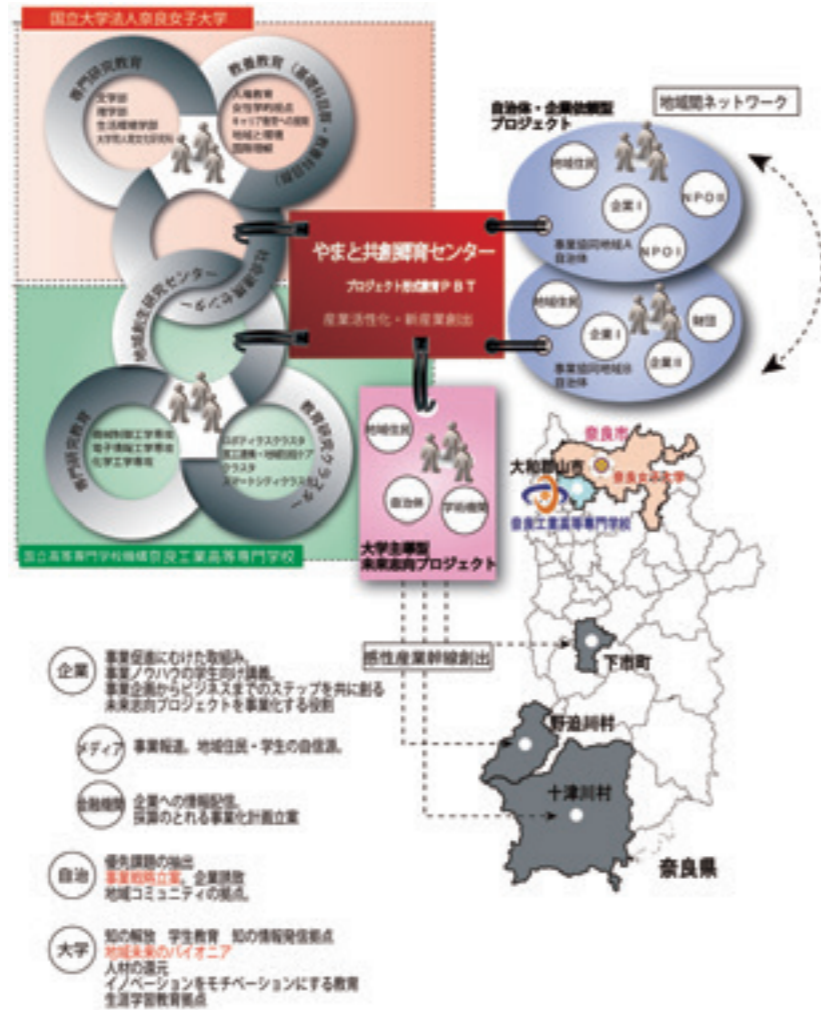


## 最近の動き Topics

### 平成27年度文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択、やまと共創郷育センターを設置しました

文部科学省の公募事業である「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」として、奈良女子大学と奈良工業高等専門学校と協働で取り組む『共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト』が採択され、平成27年12月1日には事業拠点として「やまと共創郷育センター」を設置しました。

奈良女子大学が所在する奈良県は、過疎化、基幹産業である観光業・農林業の衰退、県南部大水害からの復興といった課題解決が急務であり、今後センターを中心に地域の課題解決に貢献する学生を育てることを目指し、「地域志向型教育」を推進するほか、参加大学や地元自治体、企業との連携を密にして、全学的に県内の課題解決に取り組み、地方創生に貢献します。



### 奈良女子大学・お茶の水女子大学の大学院生活工学共同専攻を設置しました

理工系女性人材は極めて少ない状況にあり、理工系の高度な専門知識をもつ女性人材、特に生活者の視点を持った女性研究者・技術者が求められています。奈良女子大学・お茶の水女子大学の両大学は共同で、平成28年4月に大学院博士前期課程及び後期課程に生活工学共同専攻を設置しました。これは平成26年度文部科学省「国立大学改革強化推測補助金」に選定された事業の一環として実施されたものです。

大学院生活工学共同専攻では、新しい学位である修士(生活工学)・博士(生活工学)、女子大学初の修士(工学)・博士(工学)の学位を取得することができます。研究者や高度技術者など女性工学者への扉を開くとともに、生活工学を实践することで女性が活躍できる分野を創出します。

### 記念館がリニューアルオープンしました

重要文化財の記念館は、平成6年の改修工事以来の大規模な耐震改修工事を平成26年12月から平成27年12月まで実施し、無事完了いたしました。平成28年3月24日の大学院学位記授与式から再び開館し、修了生たちが記念館をバックに記念写真を撮る様子が見られました。同年4月28日には記念館耐震改修記念式典を実施し、学長をはじめ、文化庁文化財部長、佐保会理事長、記念館長によるテープカット、上野邦一国際親善教授による記念講演会が行われました。翌日の4月29日から、1年半ぶりの一般公開となる平成28年度春季記念館一般公開が開催されました。



オープニングセレモニーの様子



講堂（記念館2階）

### 市と協働連携に関する基本協定を締結しました

奈良女子大学は奈良県桜井市と協働連携に関する基本協定を締結し、平成28年3月28日に本学において調印式が行われ、今岡春樹本学学長および松井正剛桜井市長が協定書を交わしました。

本協定は主に地域活性化、地域産業の振興、人材育成の分野において本学と桜井市が連携・協力することを目的として締結するものです。今後、両者は協働して地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある地域社会の形成と発展に寄与することを目指します。



調印式の様子

### 学術情報センターの耐震改修工事が完了しました

学術情報センターは、耐震改修工事を平成27年9月から平成28年2月まで実施し、無事完了しました。リニューアルされた学術情報センターは、1階は活発な議論ができるアクティブラーニングスペース、2階は静かな環境で学習できる空間を設けています。また、事務室を1階のカウンター内に集約し、ワンストップサービスを実現しました。



ラーニング・commons（学術情報センター1階）